

会 議 の 要 旨 (議 事 録)

会議の名称	第37回鳥栖市地域公共交通会議		
開催日時	令和3年12月24日(金) 14:00	開催場所	鳥栖市役所3階大会議室
出席者数	24人	傍聴人数	0人
議 題	<p>議案第1号 令和3年度地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について(案)</p> <p>議案第2号 令和3年度地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(令和3年度鳥栖市地域内フィーダー系統確保維持計画に基づく事業)について(案)</p> <p>議案第3号 工事終了に伴う鳥栖市ミニバス旭地区循環線の通常運行再開について(案)</p> <p>議案第4号 令和4年度鳥栖市地域内フィーダー系統確保維持計画の変更について(案)</p>		
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次第・委員名簿・座席表 ・ 議案第1号 令和3年度地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について(案) ・ 議案第1号補足資料①・② ・ 議案第2号 令和3年度地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(令和3年度鳥栖市地域内フィーダー系統確保維持計画に基づく事業)について(案) ・ 議案第3号 工事終了に伴う鳥栖市ミニバス旭地区循環線の通常運行再開について(案) ・ 議案第4号 令和4年度鳥栖市地域内フィーダー系統確保維持計画の変更について(案) ・ 資料 1 路線バス及び鳥栖市ミニバスの利用状況について ・ 報告資料 鳥栖市ミニバス(鳥栖地区循環線・田代地区循環線)の運行事業者の決定について 		
所 管 課	(課名) 国道・交通対策課 (電話番号) 85-3602		

協 議 （ 議 事 ） 録

議 題	第 37 回鳥栖市地域公共交通会議
日 時	令和 3 年 12 月 24 日（金）14 時 00 分～15 時 20 分
場 所	3 階大会議室
出席者	<委員> 伊佐委員、橋本委員、小石委員、井上委員、福田委員、中野委員、齊藤委員、本田委員、 江上委員、大石委員、藤委員、肥山委員、今村委員、野崎委員、中野委員、宮崎委員、 福原委員、綿谷委員、山下委員、津留委員（代理：松原氏） <事務局> 国道・交通対策課 4 人

《結果》

- 議案第 1 号 令和 3 年度地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について（案）【承認】
- 議案第 2 号 令和 3 年度地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（令和 3 年度鳥栖市地域内フィーダー系統確保維持計画に基づく事業）について（案）【承認】
- 議案第 3 号 工事終了に伴う鳥栖市ミニバス旭地区循環線の通常運行再開について（案）【承認】
- 議案第 4 号 令和 4 年度鳥栖市地域内フィーダー系統確保維持計画の変更について（案）【承認】

《意見等》

- 議案第 1 号 令和 3 年度地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について（案）
- 議案第 2 号 令和 3 年度地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（令和 3 年度鳥栖市地域内フィーダー系統確保維持計画に基づく事業）について（案）

委員 A

資料 1 の輸送人員の実績の推移だが、例えば令和 2 年 4 月と令和 3 年 4 月で比較をすると、令和 3 年 4 月の棒グラフの方が伸びているが、おそらく令和 2 年度がコロナの影響で減っていたためかと思う。コロナの影響前の段階と比べてどうだったのか、どのあたりまで利用が戻ってきているのか教えていただきたい。

事務局

バスの利用者数はコロナ前まで年々右肩上がりという状況だったが、コロナの感染拡大を受けてやはり利用状況が下がっている。コロナ前と比べても元の水準に戻っていない。今後、利用促進に向けた取組を行っていく必要がある。

委員 A

何%ぐらいまで戻っているか把握しているか。

事務局

およそ 8 割 9 割ぐらいで推移している。

委員 B

議案第 2 号の⑤目標・効果達成状況だが、フィーダー計画の目標値は、コロナ前の令和 2 年 3 月に策定された鳥栖市地域公共交通網形成計画に基づく数字であるため、目標を達成できないのも理解できる。ただ、令和 3 年 4 月にミニバスのルートを変更してどういう効果があったのかが記載がなく、次年度以降に繋がる内容となっていないので、可能であれば記載すること。

旭地区循環線はフレスポ鳥栖へアクセスする便が出来たので、その利用がどうだったのか、全体利用はどうなったのか、そういうことも記載すると良い。

これらのことを踏まえて⑥事業の今後の改善点のところに、ルート変更がよかったので引き続き運行していくなど追記していただきたい。

事務局

コロナの関係もあり、ルート変更によって利用者数がどうなったのか分析するのが難しい状況ではあるが、例えば旭地区循環線は 4 月にフレスポ鳥栖に延伸し、フレスポ鳥栖バス停の利用者数が全体利用者の 1 割弱を占めるなど、好評をいただいているところ。今後利用状況の分析を行い、資料に記載できる分については追記をした上で提出する。

委員 C

まちづくり推進センターのイベント開始時間とバスの時間が合わなくてバスに乗らないというのを聞いたことがあるので、センターを利用している方がどれぐらい居るのか、どこの区間はどんな利用状況か、そういった情報を把握できていれば、次の運行ルート計画も組みやすいかと思う。

事務局

委員ご指摘のとおり、どこに何をしに、いつ行きたいのかという情報を持っていないと、よりよい運行ルートは作れない。来年度以降地域に伺って、詳しいところまで踏み込んで皆さんのご意見を聞かせていただきたいと考えている。

委員 D

ルートを変更することも大事だが、ルートが変わったことを皆さんに知っていただいているかどうか大事だと思う。日頃ミニバスを利用しない人がバスマップを見るだけではルートが変わったことを認識出来ない。ルート変更から 8 カ月が経過し、どういう風に皆さんに周知してきたのか教えていただきたい。

事務局

委員がおっしゃったようにバスマップの全戸配布のほか、ミニバスの利用者が多いフレスポ鳥栖には引き伸ばした時刻表を掲示いただいた。しかし、例年秋に行っていたバスの日イベントも開催できず、まだまだ利用に向けた情報提供が足りないと認識しているので、来年度以降地域の方々の集まりの場に参加し、積極的な周知を図っていきたい。